

## 過去世

愛甲次郎

二十歳餘り以前の事なりけむ、過去世を體驗せしむる合宿セミナーありき。参加者各自深き瞑想に入りて、各々思ひ描ける庵室に籠る。庵室の壁にはヴィデオの如き画像流る。

これ各自の過去世の映像にして本人の思ひに應じて様々に移り變はる。余は嘗て西域の豪商なりし頃の畫像を見るを得たり。

余は寶石に飾られたるターバンを頭に被り、赤き法衣に身を包みたる高僧に閱す。高僧は自らチャンドラキールテイーと名乗る。初めて聞く名なりき。後年チベット佛教を學ぶに及んでチャンドラキールテイーはナーガールジュナの中論の最も權威ある解説者なるを知る。

このことあつてより余は輪廻轉生の事實なることを堅く信ず。

(令和四年五月二十五日受附)